



熊本市 感染症発生動向調査 速報



夏に流行する感染症には、ヘルパンギーナ、手足口病、咽頭結膜熱（プール熱）、流行性角結膜炎（はやり目）などがあります。特に5歳までの子どもがかかることの多い感染力の強い感染症です。

➡ 感染経路は

患者の咳やくしゃみなどのしぶき（飛沫）を吸い込むことによる飛沫感染、鼻水、水疱、便、目やにや涙の中に含まれるウイルスが、直接または、ドアノブや手すり、ティッシュペーパー、タオル、洗面器などを介して口や鼻の中に運ばれることによる接触感染、糞口感染などがあります。症状がなくなったあとも約2～4週間以上にわたってウイルスが排出されるといわれています。咽頭結膜熱（プール熱）・流行性角結膜炎（はやり目）は、プールでも感染しますが、近年は塩素濃度の徹底管理等によりプールの水での感染は稀と考えられています。

➡ 予防するには

- 👉 流水と石鹸によるこまめな手洗い、うがいを習慣づけましょう。手洗いは多くの感染症に共通する重要な予防方法です。
- 👉 普段からトイレの後、おむつ交換の後、鼻をとった後に手を洗いましょう。また、鼻をとったティッシュペーパーは使い回さずその都度捨てましょう。
- 👉 子どもが理解できる範囲で咳エチケット*を心掛けましょう。
- *咳があるときはマスクをつける。人に向けて咳やくしゃみをしない。咳やくしゃみの時はティッシュなどで口や鼻をおさえる。など
- 👉 タオルの共用を避けましょう。プール前後はシャワーを浴び、目をしっかり洗い、うがいをしましょう。

★5歳以上のお子さんや
大人の人も注意してね
★別紙の表もみてね

| 期 間 | | 平成30年 29週 | | 平成30年 30週 | |
|--|-------|-----------|------|---------------|------|
| | | 7/16～7/22 | | 7/23～7/29（最新） | |
| 疾患名 | 疾患の増減 | 報告数 | 定点当り | 報告数 | 定点当り |
| （百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました） | | | | | |
| インフルエンザ | ➡ | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| RSウイルス感染症 | ➡ | 1 | 0.06 | 12 | 0.75 |
| 咽頭結膜熱（プール熱） | ➡ | 10 | 0.63 | 3 | 0.19 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | ➡ | 22 | 1.38 | 17 | 1.06 |
| 感染性胃腸炎 ⚠ | ➡ | 62 | 3.88 | 62 | 3.88 |
| 水痘（みずぼうそう） | ➡ | 3 | 0.19 | 3 | 0.19 |
| 手足口病 警報レベル!! | ⬇ | 72 | 4.50 | 49 | 3.06 |
| 伝染性紅斑（りんご病） | ➡ | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 突発性発しん | ➡ | 5 | 0.31 | 14 | 0.88 |
| ヘルパンギーナ | ➡ | 19 | 1.19 | 23 | 1.44 |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | ➡ | 1 | 0.06 | 0 | 0.00 |
| 急性出血性結膜炎 | ➡ | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 流行性角結膜炎（はやり目） ⚠ | ➡ | 23 | 4.60 | 16 | 3.20 |
| 細菌性髄膜炎 | ➡ | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 無菌性髄膜炎 | ➡ | 2 | 0.40 | 0 | 0.00 |
| マイコプラズマ肺炎 | ➡ | 0 | 0.00 | 4 | 0.80 |
| クラミジア肺炎（オウム病を除く） | ➡ | 0 | 0.00 | 0 | 0.00 |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | ➡ | 0 | 0.00 | 1 | 0.20 |